

代表質問・一般質問通告一覧表

平成30年3月

【代表質問】3月2日（金）午前9時～

質問 順位	会派名 (質問制限時間) ※答弁時間含む	質問者	質問項目
1	政和会 (65分)	川瀬 利夫	<p>1. 過去からの再出発 (1) 未解決の土地改良事業について具体的に (2) 廃校になった小学校の活用について</p> <p>2. にぎわいが広がるまち (1) 都市計画と企業誘致から ①積極的な企業誘致をどのように進めるのか。 ②新たな工業団地の造成計画の規模及び場所は (2) ジビエ肉の流通から ①ジビエ工場の食肉加工能力はどれほどか。 ②加工前のジビエの確保はどのように考えているのか。 ③ジビエ工房と猟友会のかかわりは。 (3) グリーン・ツーリズムから ①川原、鼎、篠立、古田での現在の活動状況と今後は。 ②この地域での地域おこし協力隊のかかわり方は。 ③現在の地域おこし協力隊は何名か、また辞められた方は何名か。</p>
2	いなべ未来 (60分)	岡 英昭	<p>1. いなべ市の新たな取り組みについて (1) 【過去からの再出発】 ①市が再出発と捉える事業の計画は。 ②再出発にあたり、どのような計画をもつのか。 (2) 【ふるさと納税の再出発】 ①クラウドファンディング型ふるさと納税を活用しようとする事業は。 ②制度活用の展望は。 (3) 【都市計画と企業誘致】 ①具体的な計画はあるのか。 ②財政負担の見通しは。 (4) 【獣害に強い薬用植物の栽培】 ①どこが中心となっていくのか。 ②鳥獣被害対策となる植物の想定は。 ③今後の展開は。</p> <p>2. 市民の暮らしの安心について (1) 【身近な公共交通】北勢線について、将来的な展望はどのように考えているか。 (2) 【身近な公共交通】福祉バスについて ①市民のニーズにかなった施策となっているか。 ②運転免許証返納者への対応は。 ③今後の計画は。 (3) 【大災害への備え】 ①広域での取り組みの推進は。 ②市町間の情報伝達手段をどう考えるか。 (4) 【戦没者慰霊碑の整備】 ①各地域にある戦没者（慰霊碑）の実態と改善計画は。 ②北勢町麻生田野の慰霊碑整備と平和祈念公園化への詳細は。</p>

質問 順位	会派名 (質問制限時間) ※答弁時間含む	質問者	質問項目
			<p>3.子どもの未来について</p> <p>(1)【情報通信技術（ICT）を活用した教育の推進】</p> <p>①効果をどのように考えるのか。</p> <p>②指導するための人材確保は。</p> <p>③費用は。</p> <p>(2)【小中学校の整備】</p> <p>①整備状況は。</p> <p>②整備計画は。</p>
3	創風会 (60分)	伊藤 智子	<p>1.にぎわいの森のオープンに向けて</p> <p>(1) にぎわいの森の本契約と運営事業者の選定プロセスは。</p> <p>(2) にぎわいの森と阿下喜の商店街との連携施策は。</p> <p>(3) にぎわいの森を地場産業振興にどうつなげていくのか。</p> <p>(4) にぎわいの森を定住人口増加にどうつなげていくのか。</p> <p>2.野外体験保育の推進について</p> <p>(1) 野外体験保育を認可保育施設・無認可団体が行うものも含めていなべブランドにしていく考えはあるか。</p> <p>(2) 野外体験保育の浸透（普及）には保育者・保育施設への研修等の働きかけが必要と考えるがどうか。</p> <p>(3) グリーンクリエイティブとの関連性は。</p> <p>3.情報通信技術（ICT）を活用した教育の推進について</p> <p>(1) 故障などのトラブルに対しての事務方のバックアップ体制は万全か。</p> <p>(2) 学校現場では何が負担増になり、何が負担減になるのか。</p> <p>(3) 学力アップに向けてICTをどのように活用するのか。</p> <p>(4) クラウド化まで考えているか。</p> <p>(5) ビッグデータの集約まで視野に入れているか。</p>
4	かがやき (55分)	位田まさ子	<p>1.広がる子どもの未来について</p> <p>(1) 子育てしやすい環境の取り組みについて</p> <p>①「子育てコンシェルジュ事業」、「こども総合支援センター（仮称）」の役割は。</p> <p>②「子育てコンシェルジュ事業」、「こども総合支援センター（仮称）」設置により、市民サービスはどのように変わるのか。</p> <p>③「こども総合支援センター（仮称）」がもつ専門的機能は。</p> <p>(2) 幼児期の成長過程で必要な野外体験保育推進について</p> <p>①野外体験保育による効果、必要性をどう捉えているか。</p> <p>②「一歩踏み込んだ野外体験保育」の展開（計画）は。</p> <p>2.広がる支え合いについて</p> <p>(1) ふれあいサロンから福祉委員会へと移行する意義は。</p> <p>(2) いなべ市の持続可能な開発目標SDGs未来都市構想</p>

質問 順位	会派名 (質問制限時間) ※答弁時間含む	質問者	質問項目
			<p>について</p> <p>①国へ提案しようとする事業はどのようなものか。</p> <p>②推進体制は。</p> <p>③取組による効果と展望は。</p> <p>3. にぎわいが広がるまちとは</p> <p>(1) 都市計画と企業誘致について</p> <p>①企業誘致を見込む場所は。</p> <p>②面積、目標とする企業数。</p> <p>③東海環状自動車道との関連で、企業誘致を有利に働きかけができるのか。</p> <p>④小規模でも、本社機能を持つ企業を誘致できたらいいと思うが、市長の考えは。</p> <p>(2) 三重とこわか国体での員弁運動公園駐車場の運動場のトイレの整備が早急に必要ではないか。</p> <p>(3) 獣害対策としての薬用植物の栽培の促進を大いに期待するが、平成30年度で取り組むことは。</p>
5	<p>日本共産党 いなべ市議団 (50分)</p>	<p>衣笠 民子</p>	<p>1. 再出発について</p> <p>(1) 新たな元号とともに再出発</p> <p>①「シビック・コアの新設により・・・、市民活動の新たな舞台ができる」とある。しかし、平成29年9月議会の答弁では、基本的には行政が中心となる各種会議、研修会場として利用され、市民に開放されるのは平日夜間、休日に限られるとのことであり、「平日夜間、休日の閉庁時に市民にもサークル活動やコミュニティの場として利用を促して有効活用を図る」と市民活動は付け足しの感がある。使い方、機能、役割の再出発(変更)はあるのか。</p> <p>②「大阪や名古屋で人気のパティシエやシェフなどを招いての「にぎわいの森」も市民の皆さんとの交流を活発にし、皆さんがもろ手を挙げてオープンできるよう啓発の再出発を行います」とある。1月に開かれた臨時議会の提案で7事業8施設から5事業4施設に変更され、可決された。当初求めていた「にぎわい」「地方創生」の目的は達成されるのか。</p> <p>(2) 過去からの再出発</p> <p>①「その他にも、未解決の土地改良事業や、廃校となった小学校の活用など、再出発を進めます」とあるが、どこで話し合わせ、方向を出していくのか。</p> <p>②総合福祉センター用地の再出発は。</p> <p>(3) 未来への再出発</p> <p>「・・・老朽化した施設の再出発に努めます」とある。平成29年12月議会の答弁で、郷土資料館について、「建物の老朽化は顕著だが、国道421号線、三岐鉄道三里に接する好立地の建物。利用者、とくに小学校の校外学習でよく利用されている。利便性を勘案して、当地での施設運営を継続している。今後とも施設整備等にかかわる管理費の歳出を最小限に抑え、当面現在の運営体制を維持していきたい」とあった。郷土資料館の再出発はあるのか。</p>

質問 順位	会派名 (質問制限時間) ※答弁時間含む	質問者	質問項目
			<p>2. 財政状況について 合併特例債の有効活用について、「借入金の短期償還を行い」とある。短期で償還できるということは財政に余裕があるということか。</p> <p>3. 歳出予算について</p> <p>(1) 国民健康保険</p> <p>①「保険料率(医療分)も据え置く方向で予算を計上しました」とある。平成29年度の料率は。</p> <p>②平成29年度の国民健康保険料(医療分+介護保険分+後期高齢者支援分)は、モデルケースで年額いくらだったか。</p> <p>(2) 持続可能な開発目標SDGs未来都市 「いなべ市は他市町に先駆けこの持続可能な開発目標SDGs未来都市への取り組みを始めます」とあるが、具体的にはどういったことを始めるのか。</p>